

放射線サーベイ記録

測定目的	所外運搬に伴う輸送物サーベイ (L型輸送物 1・オーバーパック1)	測定項目	■線量当量率 ■表面汚染密度
測定場所	1F 車両スクリーニング場 ボックスカルバート	測定者	
測定日時	2025年6月29日 9:35~10:42	測定器	【線量当量率】 F1-SC-120 【表面汚染密度】 ( $\alpha$ ) F1- $\alpha$ - 044 スミア法換算定数: 6.61E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm) ( $\beta$ ) F1-GMAD- 028 スミア法換算定数: 4.18E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm)

・線量当量率

BG( $\gamma$ ): 0.11  $\mu$ Sv/h

基準: 5  $\mu$ Sv/h以下

・表面汚染密度( $\alpha$ 、 $\beta$ )

表面汚染計数率BG( $\alpha$ ): 0 cpm

検出限界値( $\alpha$ ): 0.18 Bq/cm<sup>2</sup>

基準: 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下

表面汚染計数率BG( $\beta$ ): 80 cpm

検出限界値( $\beta$ ): 0.29 Bq/cm<sup>2</sup>

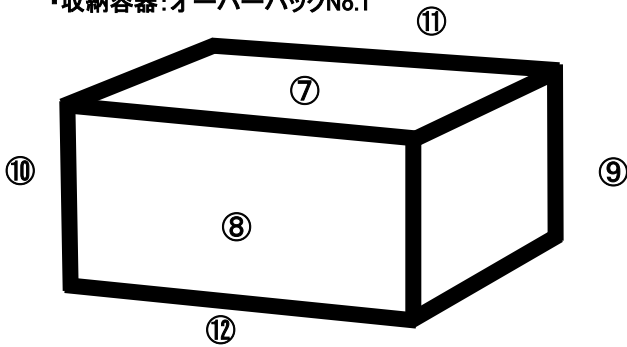
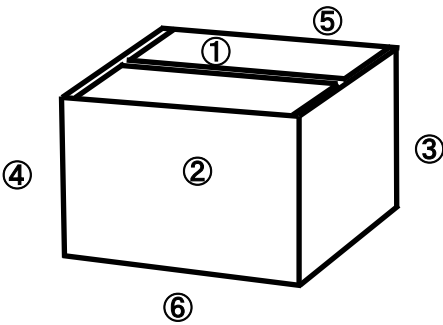
基準: 4Bq/cm<sup>2</sup>以下

1. 輸送物1

2. オーバーパック1

・輸送容器(内容器UN容器1~2+外容器UN段ボール1)

・収納容器: オーバーパックNo.1



		線量当量率( $\gamma$ )[ $\mu$ Sv/h]		表面汚染密度[Bq/cm <sup>2</sup> ] ※ ( ) 内GROSS値				
		表面	表面から1m	測定方法	( $\alpha$ )		( $\beta$ )	
1-1	輸送物1	①上面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-2		②前面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-3		③右面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-4		④左面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-5		⑤後面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-6		⑥底面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-7	オーバーパック1	⑦上面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-8		⑧前面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-9		⑨右面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-10		⑩左面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-11		⑪後面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
1-12		⑫底面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	

(LTD: 検出限界値未満)

【基準】

輸送物

線量当量率( $\gamma$ ): 輸送物表面において5  $\mu$ Sv/h以下であること

表面汚染密度( $\alpha$ ): 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

表面汚染密度( $\beta$ ): 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

オーバーパック

線量当量率( $\gamma$ )

: オーバーパック表面において2mSv/h以下であること

: オーバーパック表面から1mに おいて100  $\mu$ Sv/h以下であること

※ L型輸送物に限りオーバーパック表面の線量当量率が5  $\mu$ Sv/hを超えない場合は、  
オーバーパック表面から1m地点の線量当量率の測定を省略することができる。

表面汚染密度( $\alpha$ ): 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

表面汚染密度( $\beta$ ): 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

放射線サーベイ記録

測定目的	所外運搬に伴う輸送物サーベイ (L型輸送物 2・オーバーパック2)	測定項目	■線量当量率 ■表面汚染密度
測定場所	1F 車両スクリーニング場 ボックスカルバート	測定者	
測定日時	2025年6月29日 9:37~10:42	測定器	【線量当量率】 F1-SC-120 【表面汚染密度】 (α)F1-α- 044 スミア法換算定数: 6.61E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm) (β)F1-GMAD- 028 スミア法換算定数: 4.18E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm)

・線量当量率

BG(γ): 0.11 μSv/h

基準: 5 μSv/h以下

・表面汚染密度(α、β)

表面汚染計数率BG(α): 0 cpm

検出限界値(α): 0.18 Bq/cm<sup>2</sup>

基準: 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下

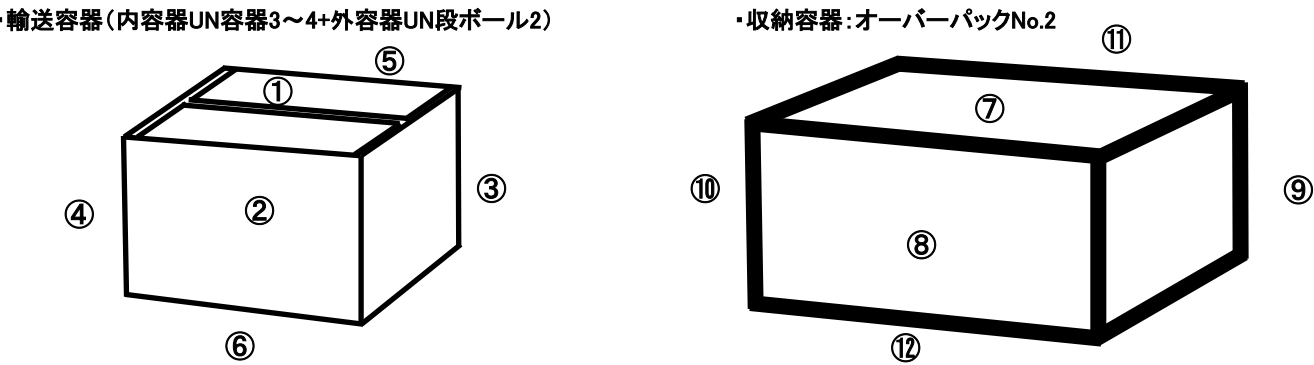
表面汚染計数率BG(β): 80 cpm

検出限界値(β): 0.29 Bq/cm<sup>2</sup>

基準: 4Bq/cm<sup>2</sup>以下

1. 輸送物2

2. オーバーパック2



		線量当量率(γ)[μSv/h]		表面汚染密度[Bq/cm <sup>2</sup> ] ※ ( ) 内GROSS値				
		表面	表面から1m	測定方法	(α)	(β)		
2-1	輸送物2	①上面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-2		②前面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-3		③右面外側	0.12	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-4		④左面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-5		⑤後面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-6		⑥底面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-7	オーバーパック2	⑦上面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-8		⑧前面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-9		⑨右面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-10		⑩左面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-11		⑪後面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)
2-12		⑫底面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD	( 80 cpm)

(LTD: 検出限界値未満)

【基準】

輸送物

線量当量率(γ): 輸送物表面において5 μSv/h以下であること

表面汚染密度(α): 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

表面汚染密度(β): 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

オーバーパック

線量当量率(γ)

: オーバーパック表面において2mSv/h以下であること

: オーバーパック表面から1mに おいて100 μSv/h以下であること

※ L型輸送物に限りオーバーパック表面の線量当量率が5 μSv/hを超えない場合は、オーバーパック表面から1m地点の線量当量率の測定を省略することができる。

表面汚染密度(α): 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

表面汚染密度(β): 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

# 放射線サーベイ記録

測定目的	所外運搬に伴う輸送物サーベイ (L型輸送物 3・オーバーパック3)	測定項目	■線量当量率 ■表面汚染密度
測定場所	1F 車両スクリーニング場 ボックスカルバート	測定者	
測定日時	2025年6月29日 9:40~11:06	測定器	【線量当量率】 F1-SC-120 【表面汚染密度】 ( $\alpha$ ) F1- $\alpha$ - 044 スミア法換算定数: 6.61E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm) ( $\beta$ ) F1-GMAD- 028 スミア法換算定数: 4.18E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm)

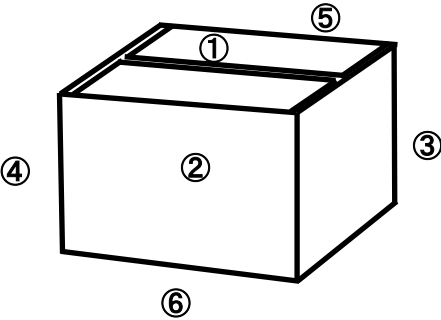
・線量当量率 BG( $\gamma$ ): 0.11  $\mu$ Sv/h 基準: 5  $\mu$ Sv/h以下

・表面汚染密度( $\alpha$ 、 $\beta$ )  
表面汚染計数率BG( $\alpha$ ): 0 cpm 検出限界値( $\alpha$ ): 0.18 Bq/cm<sup>2</sup> 基準: 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下  
( $\beta$ ): 80 cpm 検出限界値( $\beta$ ): 0.29 Bq/cm<sup>2</sup> 基準: 4Bq/cm<sup>2</sup>以下

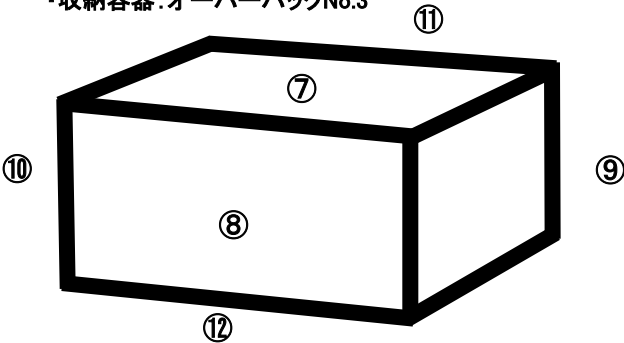
1. 輸送物3

2. オーバーパック3

・輸送容器(内容器UN容器5~6+外容器UN段ボール3)



・収納容器: オーバーパックNo.3



		線量当量率( $\gamma$ ) [ $\mu$ Sv/h]		表面汚染密度[Bq/cm <sup>2</sup> ] ※ ( ) 内GROSS値				
		表面	表面から1m	測定方法	( $\alpha$ )		( $\beta$ )	
3-1	輸送物3	①上面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-2		②前面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-3		③右面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-4		④左面外側	0.12	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-5		⑤後面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-6		⑥底面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-7	オーバーパック3	⑦上面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-8		⑧前面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-9		⑨右面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-10		⑩左面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-11		⑪後面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
3-12		⑫底面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	

(LTD: 検出限界値未満)

【基準】

輸送物

線量当量率( $\gamma$ ): 輸送物表面において5  $\mu$ Sv/h以下であること

表面汚染密度( $\alpha$ ): 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

表面汚染密度( $\beta$ ): 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

オーバーパック

線量当量率( $\gamma$ )

: オーバーパック表面において2mSv/h以下であること

: オーバーパック表面から1mに おいて100  $\mu$ Sv/h以下であること

※ L型輸送物に限りオーバーパック表面の線量当量率が5  $\mu$ Sv/hを超えない場合は、  
オーバーパック表面から1m地点の線量当量率の測定を省略することができる。

表面汚染密度( $\alpha$ ): 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

表面汚染密度( $\beta$ ): 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

放射線サーベイ記録

測定目的	所外運搬に伴う輸送物サーベイ (L型輸送物 4・オーバーパック4)	測定項目	■線量当量率 ■表面汚染密度
測定場所	1F 車両スクリーニング場 ボックスカルバート	測定者	
測定日時	2025年6月29日 9:42~11:06	測定器	【線量当量率】 F1-SC-120 【表面汚染密度】 ( $\alpha$ ) F1- $\alpha$ - 044 スミア法換算定数: 6.61E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm) ( $\beta$ ) F1-GMAD- 028 スミア法換算定数: 4.18E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm)

・線量当量率

BG( $\gamma$ ): 0.11  $\mu$ Sv/h

基準: 5  $\mu$ Sv/h以下

・表面汚染密度( $\alpha$ 、 $\beta$ )

表面汚染計数率BG( $\alpha$ ): 0 cpm

検出限界値( $\alpha$ ): 0.18 Bq/cm<sup>2</sup>

基準: 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下

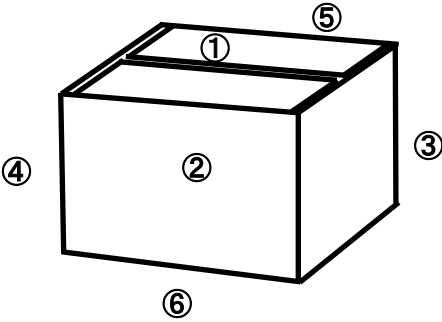
表面汚染計数率BG( $\beta$ ): 80 cpm

検出限界値( $\beta$ ): 0.29 Bq/cm<sup>2</sup>

基準: 4Bq/cm<sup>2</sup>以下

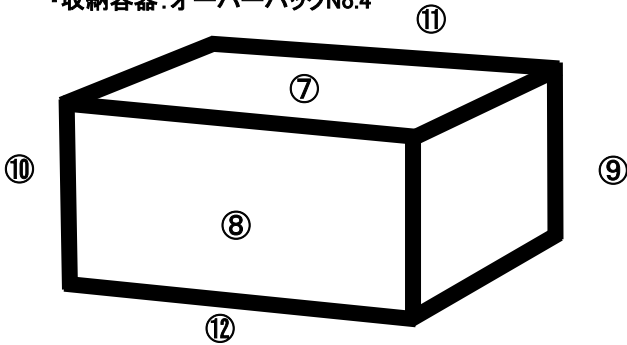
1. 輸送物4

・輸送容器(内容器UN容器7~8+外容器UN段ボール4)



2. オーバーパック4

・収納容器: オーバーパックNo.4



		線量当量率( $\gamma$ ) [ $\mu$ Sv/h]		表面汚染密度[Bq/cm <sup>2</sup> ] ※ ( ) 内GROSS値				
		表面	表面から1m	測定方法	( $\alpha$ )		( $\beta$ )	
4-1	輸送物4	①上面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-2		②前面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-3		③右面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-4		④左面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-5		⑤後面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-6		⑥底面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-7	オーバーパック4	⑦上面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-8		⑧前面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-9		⑨右面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-10		⑩左面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-11		⑪後面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
4-12		⑫底面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	

(LTD: 検出限界値未満)

【基準】

輸送物

線量当量率( $\gamma$ ): 輸送物表面において5  $\mu$ Sv/h以下であること

表面汚染密度( $\alpha$ ): 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

表面汚染密度( $\beta$ ): 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

オーバーパック

線量当量率( $\gamma$ )

: オーバーパック表面において2mSv/h以下であること

: オーバーパック表面から1mに おいて100  $\mu$ Sv/h以下であること

※ L型輸送物に限りオーバーパック表面の線量当量率が5  $\mu$ Sv/hを超えない場合は、オーバーパック表面から1m地点の線量当量率の測定を省略することができる。

表面汚染密度( $\alpha$ ): 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

表面汚染密度( $\beta$ ): 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

# 放射線サーベイ記録

測定目的	所外運搬に伴う輸送物サーベイ (L型輸送物 5・オーバーパック5)	測定項目	■線量当量率 ■表面汚染密度
測定場所	1F 車両スクリーニング場 ボックスカルバート	測定者	
測定日時	2025年6月29日 9:44~11:16	測定器	【線量当量率】 F1-SC-120 【表面汚染密度】 ( $\alpha$ ) F1- $\alpha$ - 044 スミア法換算定数: 6.61E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm) ( $\beta$ ) F1-GMAD- 028 スミア法換算定数: 4.18E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm)

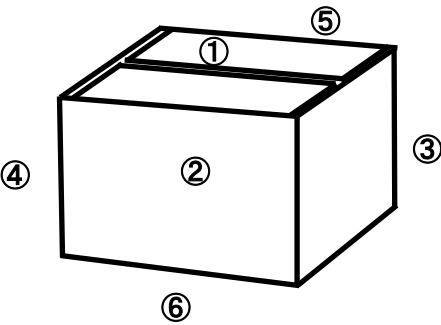
・線量当量率 BG( $\gamma$ ): 0.11  $\mu$ Sv/h 基準: 5  $\mu$ Sv/h以下

・表面汚染密度( $\alpha$ 、 $\beta$ )  
表面汚染計数率BG( $\alpha$ ): 0 cpm 検出限界値( $\alpha$ ): 0.18 Bq/cm<sup>2</sup> 基準: 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下  
( $\beta$ ): 80 cpm 検出限界値( $\beta$ ): 0.29 Bq/cm<sup>2</sup> 基準: 4Bq/cm<sup>2</sup>以下

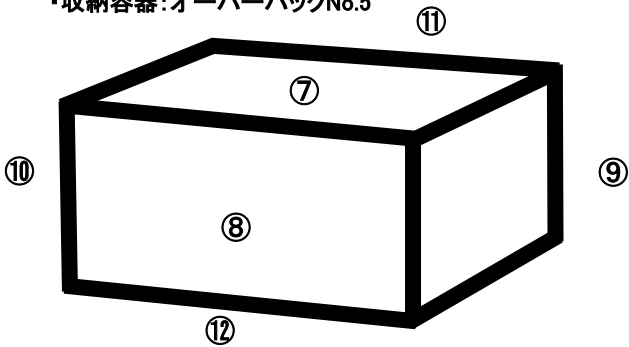
1. 輸送物5

2. オーバーパック5

・輸送容器(内容器UN容器9~10+外容器UN段ボール5)



・収納容器: オーバーパックNo.5



		線量当量率( $\gamma$ )[ $\mu$ Sv/h]		表面汚染密度[Bq/cm <sup>2</sup> ] ※ ( )内GROSS値				
		表面	表面から1m	測定方法	( $\alpha$ )		( $\beta$ )	
5-1	輸送物5	①上面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-2		②前面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-3		③右面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-4		④左面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-5		⑤後面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-6		⑥底面外側	0.11	0.11	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-7	オーバーパック5	⑦上面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-8		⑧前面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-9		⑨右面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-10		⑩左面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-11		⑪後面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	
5-12		⑫底面外側	0.11	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 80 cpm)	

(LTD: 検出限界値未満)

【基準】

輸送物

線量当量率( $\gamma$ ): 輸送物表面において5  $\mu$ Sv/h以下であること

表面汚染密度( $\alpha$ ): 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

表面汚染密度( $\beta$ ): 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

オーバーパック

線量当量率( $\gamma$ )

: オーバーパック表面において2mSv/h以下であること

: オーバーパック表面から1mに おいて100  $\mu$ Sv/h以下であること

※ L型輸送物に限りオーバーパック表面の線量当量率が5  $\mu$ Sv/hを超えない場合は、オーバーパック表面から1m地点の線量当量率の測定を省略することができる。

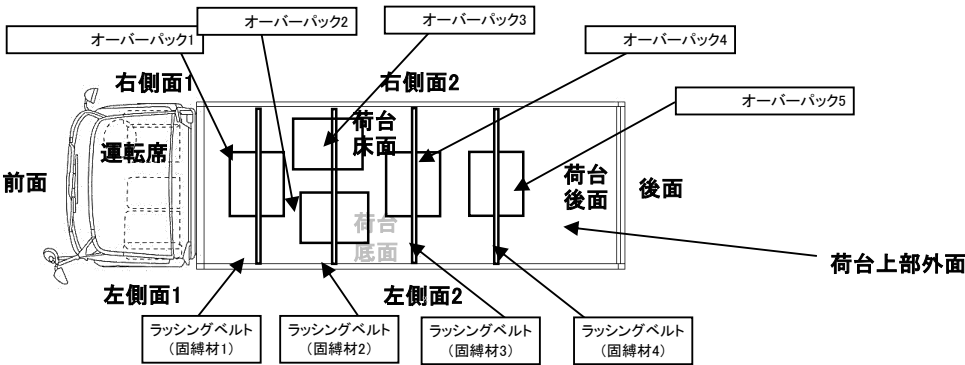
表面汚染密度( $\alpha$ ): 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

表面汚染密度( $\beta$ ): 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

放射線サーベイ記録 (αβγ)

測定目的	所外運搬に伴う運搬車両サーベイ (輸送物積み込み後、1F出発前)	測定項目	■線量当量率 ■表面汚染密度
測定場所	1F 車両スクリーニング場 ボックスカルバート	測定者	
測定日時	2025年6月30日 9:17 ~ 10:50	測定器	【線量当量率】(γ) F1-SC-120 【表面汚染密度】 (α) F1-α-044 スミア法換算定数: 6.61 E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm) (β) F1-GMAD-028 スミア法換算定数: 4.18 E-03 Bq/(cm <sup>2</sup> cpm)
・線量当量率 BG(γ): 0.12 μSv/h			
・表面汚染密度 表面汚染計数率BG(α): 0 cpm スミア法検出限界値(α): 0.18 Bq/cm <sup>2</sup> 基準: 0.4Bq/cm <sup>2</sup> 以下			
表面汚染計数率BG(β): 70 cpm スミア法検出限界値(β): 0.27 Bq/cm <sup>2</sup> 基準: 4Bq/cm <sup>2</sup> 以下			

1. 運搬車両



	線量当量率(γ)[μSv/h]		表面汚染密度[Bq/cm <sup>2</sup> ] ※( )内GROSS値		
	表面	表面から1m	測定方法	(α)	(β)
6-1 荷台床面(荷積前)	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-2 荷台後面	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-3 荷台上部外面	0.12	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-4 固縛材1	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-5 固縛材2	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-6 固縛材3	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-7 固縛材4	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-8 前面	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-9 右側面1	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-10 右側面2	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-11 後面	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-12 左側面1	0.13	0.13	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-13 左側面2	0.12	0.12	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-14 荷台底面	0.12	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)
6-15 運転席	0.12	—	スミア法	LTD ( 0 cpm)	LTD ( 70 cpm)

(注)オーバーバック内面・外面は輸送物積み込み前に測定を実施

【基準】  
線量当量率(γ)  
: 運搬車両表面において 2mSv/h以下であること  
: 運搬車両表面から1mにおいて 100 μSv/h以下であること  
: 運転席において 20 μSv/h以下であること  
表面汚染密度(α)  
: 運搬車両表面において 0.4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること  
表面汚染密度(β)  
: 運搬車両表面において 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

(LTD: 検出限界値未満)

2. 車両運転手の身体汚染検査

	表面汚染密度(β)[Bq/cm <sup>2</sup> ] ※( )内GROSS値		(測定方法: 直接法)
全身	LTD	( 70 cpm)	【基準】
足裏(靴底)	LTD	( 70 cpm)	表面汚染密度(β): 4Bq/cm <sup>2</sup> 以下であること
(LTD: 検出限界値未満)			